

# 新年のご挨拶



理事長  
上田 清  
(大和郡山市長)

## 新年明けまして おめでとうございます

新年明けましておめでとうございます。

組合員並びにご家族の皆様におかれましては、清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃より本組合の事業運営につきまして多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、いよいよ本年10月に共済年金と厚生年金の被用者年金制度の一元化が行われます。これにより公務員も厚生年金に加入することとなり、共済年金と厚生年金との制度間の差異は基本的には厚生年金に揃えて解消されます。このことにより、平成30年に厚生年金と同じ18.3%になるまで保険料率が毎年0.354%ずつ引き上げられることとなっており、皆様へは更なる負担をお願いすることになります。なお、厚生年金との一元化後も組合員の皆様の事務取扱いにつきましては引き続き共済組合が行うこととなっておりますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

また、過去の健診結果やレセプト(診療報酬明細書)などの膨大なデータを応用して、より効果的な保健事業を実施していく「データヘルス計画」について、本組合では平成25年度より既に取り組んでいるところですが、今後はこれまで以上に所属所健康管理担当者の方と連携して、皆様個人個人に適した健康づくりや疾病予防、重症化予防の対策を展開してまいりたいと考えます。

更に、今後、マイナンバー制度についても推し進められることとなっております。このマイナンバー制度は複数機関に存在する特定の個人情報をも同一人の情報であるという確認を行うための基盤であり、社会保障・税制度の効率性・透明性を高めて国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現するためのインフラとなっております。本年10月に一人一人に通知される予定となっております。この制度によって異なる機関であっても添付書類が不要になったり、情報の転記が不要になるなど利便性の向上が見込まれていますので、本組合においても適切に対応してまいりたいと考えます。

最後になりましたが、皆様のご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

